

大統領府、夏期休暇中の青少年を支援する「サマー・オポチュニティ・プロジェクト」
を立ち上げ (2月25日)

大統領府は2月25日、夏季休暇中の青少年に対し、州・地方自治体、地域団体、民間セクターリーダー、慈善活動リーダー、学校、及び青少年団体が共同で支援を提供できるようにするための省庁横断型プログラム「サマー・オポチュニティ・プロジェクト (Summer Opportunity Project)」の立ち上げを発表した。本プロジェクトは、米国夏期学習協会 (National Summer Learning Association) などとパートナーシップを締結して取り組むもので、実績ある夏期プログラムに参加する青少年の割合の増加、夏期の青少年による暴行への関与の減少、夏期休暇中のアルバイトが必要な青少年に対する支援などを目指している。特に、黒人及びヒスパニック系の10代男子は、夏期及び年間を通じてのアルバイト機会の獲得において他の人種・民族グループに後れを取っていることが研究で明らかにされており、同プロジェクトは雇用ギャップを埋める上でも役立つと考えられている。同プロジェクトの立ち上げに合わせ、26日にホワイトハウスにおいてワークショップの他、地域の青少年活動に取り組むリーダーの紹介などを含むイベント「チャンピオン・オブ・チェンジ (Champions of Change)」が開催された。

The White House, FACT SHEET: White House Announces New Summer Opportunity Project
<https://www.whitehouse.gov/the-press-office/2016/02/25/fact-sheet-white-house-announces-new-summer-opportunity-project-0>